

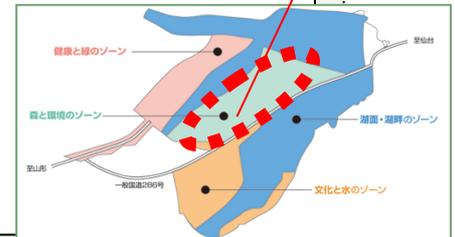


みちのく森の楽校だより 号外!

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



6月8日(日) 里山地区 開園!

里山地区でツリーハウスを造り始めたのは2011年の秋、大震災のあった年でした。それから早3年。これまでいろいろな体験をしてきました。

そして、ついに里山地区が開園しました。里山地区開園は、みちのく公園の全園開園でもあります。開園式典は6月8日の日曜日。降り続く雨の中、たくさんの方々とお祝いしました。



テープカット

真ん中には森の楽校会員の子供たち。参加者を代表してテープカットをしました。



風船飛ばし

彩りを添えたのが風船飛ばし。森の楽校の会員と川崎町子供園の子供たちが一斉に飛ばしました！



開園記念イベント！ 開園をお祝いしていろいろなイベントをしました。

里山コンサート

式典の前には、地元川崎町の「川内太鼓」が勇壮な太鼓を聞かせてくださいました。

式典後は里山コンサート。宮城県森林インストラクター協会メンバーの「フォレスターズ」が懐かしの抒情歌を演奏してくださいました。



味噌タンポのふるまい

「東北のうまいもの」として、里山ボランティア手作りの味噌たんぽをふるまいました。味噌も米も自然共生園産。焼いている炭は里山地区の炭焼き窯で焼いた白炭です。



里山初めて体験 里山に初めていらした方に里山の楽しみを体験してもらおうと、丸太切り体験、焼印体験、薪割り体験をしてもらいました。ツリーハウスにも登ってもらいましたよ！、

第3回会員活動は6月28日（土）、園路名称サインの建て込みをします。
第4回は7月26日（土）です。暑い盛りです。